

令和7年度 第3回兵庫県スポーツ推進審議会

と き：令和8年3月19日（木）14:00～16:00
と ころ：兵庫県学校厚生会館 2階大会議室



1 開会あいさつ

2 委員紹介他

兵庫県スポーツ推進審議会委員、[座席図](#)、[審議会規則](#)

3 第2期兵庫県スポーツ推進計画一部改正について [別紙](#)

4 令和7年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告 [第2回議事録](#)

5 審議事項

- (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画 令和8年度実施計画について [審議事項（1）](#)
- (2) 令和8年度スポーツ振興団体に交付する補助金について [審議事項（2）](#)

6 報告事項 令和8年度の主要事業について [報告事項（1）](#)

- ・スポーツ振興課
- ・ユニバーサル推進課

7 その他

8 閉会のあいさつ

兵庫県スポーツ推進審議会委員

(任期：令和7年9月11日～令和9年9月10日)

	氏名	所属・役職等	分野	出欠	備考
1	麻生 慶輔	第一生命保険株式会社 関西総合法人部 法人渉外担当部長	スポーツ関係企業	○	
2	伊藤 克広	兵庫県立大学 教授	スポーツ社会学	欠	※ 会長代理
3	宇都宮 絵莉	元陸上選手 2023 ブダペスト世界陸上出場	元アスリート	欠	
4	賀屋 光晴	兵庫医科大学 准教授	ジュニア育成・発掘	○ オンライン	
5	小林 芳子	公益財団法人日本スケート連盟 フィギュアスケート強化副部長	スポーツ団体	○	
6	長ヶ原 誠	神戸大学大学院 教授	スポーツ科学	○	※ 会長
7	中山 哲郎	日本スポーツツーリズム推進機構 シニアアドバイザー	スポーツツーリズム	○	
8	西家 道代	シッティングバレーボール日本代表 ロンドン・東京パラリンピック出場	パラアスリート	欠	
9	西村 大介	株式会社ストークス 取締役副社長	スポーツクラブ	○	
10	野村 努	一般社団法人 NextBaseballTeams 代表理事	公募委員	○	
11	前田 直之	株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサル ティング部門 都市地域イノベーション ユニット ユニット長/プリンシパル	スポーツ関係企業	○	
12	松下 雄彦	明和病院 整形外科部長	医科学	○	
13	松本 大輔	神戸新聞社 運動部長	報道	○ オンライン	
14	水口 栄二	元プロ野球選手 元阪神タイガース・オリックス 一軍打撃コーチ	元アスリート	○	
15	水田 由美	明石市教育委員会 部活動指導員	公募委員	○	

○兵庫県スポーツ推進審議会規則

令和5年3月31日規則第10号

兵庫県スポーツ推進審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和37年兵庫県条例第21号）第5条の規定に基づき、同条例に定めるもののほか、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) その他知事が必要と認めた者

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 審議会に、会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

令和7年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録（案）

1 期 日 ・ 場 所 令和7年11月18日（火） 14:00～15:30

神戸市教育会館 404号室

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-5

2 出 席 者

（委員11名）

麻生委員 伊藤委員 宇都宮委員 賀屋委員 中山委員
西家委員 野村委員 前田委員 松本委員 水口委員
水田委員

（行政関係者）

田中県民生活部長（県民生活部）
小倉文化スポーツ局長（県民生活部文化スポーツ局）
高橋スポーツ振興課長（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
大喜多副課長（福祉部ユニバーサル推進課）
森鼻副課長（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
杉本事務局長（公益財団法人兵庫県スポーツ協会）
新谷マラソン担当官（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
宮本競技・生涯スポーツ班長（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
清澤主任スポーツ振興専門員（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
久保田スポーツ振興専門員（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）
沼田スポーツ振興専門員（県民生活部文化スポーツ局スポーツ振興課）

3 開 会 あ い さ つ 小倉文化スポーツ局長

4 署 名 委 員 の 指 名 中山委員、西家委員に決定

5 報 告 事 項

令和7年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告

スポーツ振興課副課長より説明し、承認を受けた。

6 審 議 事 項

第2期兵庫県スポーツ推進計画の一部改正について

スポーツ振興課長から、前回の審議会にいただいた委員のご意見を参考に修正・訂正を行った計画案の内容について説明があり、その後、各委員による意見交換を行った

7 閉 会 あ い さ つ 田中県民生活部長

8 閉会

委員の主な意見及び行政関係者の説明

審議事項 <第2期兵庫県スポーツ推進計画の一部改正について>

【野村委員】

- 「アドベンチャーツーリズム」や「スポーツコミッション」については、全国では様々な取り組みが進められているが、兵庫県では具体的にどのような事例があるのか。

【中山委員】

- 関西ではスポーツコミッションの空白地帯が多く、2011年に関西経済同友会主導で設立された「スポーツコミッション関西」も現在は解散している。理由は自治体を十分に巻き込めなかったためと考えられる。ただし、ワールドマスターズゲームズ関西の誘致には大きな役割を果たした。
- 関西では市町レベルで「スポーツコミッション」を名乗る団体は少なく、全国的にはスポーツ庁が「スポーツ合宿誘致推進協議会」として認定する例もある。また、地域スポーツクラブやスポーツコミュニティが、施設管理を担いながら合宿や大会誘致に取り組むケースもある。兵庫県でも名称を掲げる団体はごくわずかだ。

【野村委員】

- 銚子市の事例からも、ツーリズムを通じてスポーツコミッション的な取り組みは可能だ。しかし、スポーツ単体では成立しにくく、人の流れや交流を生み出す仕組みが重要だ。自治体が主体的に関与し、先導しなければ実現は難しいのか。

【中山委員】

- 兵庫県ではスポーツ担当部署が知事部局へ移管されたが、全国的には遅れ気味だった。現在、日本には200超のスポーツコミッションがあり、約4割は法人やNPO、残りは自治体内に設置されている。ただし、自治体型は人事異動で継続性に課題があり、スポーツビジネス化が進みにくい状況だ。今後は人材の確保・育成が重要だと考えている。
- 銚子市では、自治体が動かず民間がNPOを設立し、廃校施設を合宿施設として活用した。地方創生交付金を活用し2018年に営業開始したが、コロナ禍で経営は悪化。その後、首都圏市場を背景に回復し、料金見直しで収益化を進めている。一方、兵庫県北部では合宿需要はあるものの、自治体のスポーツコミッションは取り次ぎ業務にとどまり収益化が難しく、経済効果をスポーツGDPに結びつける仕組みが課題だと考えている。
- アドベンチャーツーリズムは、スポーツ施設がない地域でも可能で、日本特有の武道を活用した「武道ツーリズム」もインバウンド需要により広がっている。日本ではまだ黎明期で、自然・文化・スポーツを組み合わせた3泊以上の体験型パッケージが必要だと考えている。顧客層はSDGsや地域文化を重視する少人数旅行者で、北海道・沖縄・長野などで先行事例があるが、全国的には今後の推進が課題だ。

【野村委員】

- 地域でスポーツ指導に携わる立場から、今後の課題は財源だと感じている。部活動の地域移行でクラブ所属となると、会費負担が参加の障壁になる可能性がある。こうした課題解決には、ツーリズムやスポーツコミッションを活用した財源確保が鍵であり、地域ぐるみの仕組みづくりが重要ではないか。

【伊藤委員】

- 今回の一部改正が、今後市町に展開され、市町側も独自に計画を策定していく流れになるのではないかと考えている。

【前田委員】

- 県内スポーツGDPは包括的な効果を測る挑戦的な指標だと感じている。スポーツGDPの対象範囲と具体的な算出方法はどのようになっているのか。資料には「スポーツ用品や施設、余暇活動に伴う支出」とあるが、例えば「する・みる・ささえる」に関わる消費をどのように集計しているのか、概要を教えてください。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 詳細にはさまざまな要素があるが、概略としては、国でも同様の指標が使われており、日本政策投資銀行の「我が国スポーツ産業の経済規模推定」を参考としている。産業分類としては、以下の10分野を対象としている。「1. スポーツ活動（スポーツ施設の運営、プロスポーツの興行、スポーツ指導、スポーツ振興くじなど）」、「2. スポーツ関連流通」、「3. スポーツ教育」、「4. スポーツ関連メディア」、「5. スポーツ食品・飲料」、「6. スポーツ医療」、「7. スポーツ用品・アパレル」、「8. スポーツ旅行サービス」、「9. スポーツ施設建設」、「10. スポーツ保険」

これらの分野におけるスポーツ関連の付加価値を集計し、産業全体から拾い上げて合算する形で算出することを考えている。

【前田委員】

- 幅広い視点でスポーツを捉えることで、関心のない人にも生活への影響を理解してもらえる可能性がある。こうした情報を積極的に普及することが重要だ。

【松本委員】

- スポーツコミッション、アドベンチャーツーリズム、スポーツ GDP などの用語解説は理解を深めるうえで有益だ。質問だが、兵庫県のスポーツ GDP は現時点で算出されているのか。もし未算出なら、他府県で公表している自治体はどの程度あるのか、分かる範囲で教えていただきたい。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 現在、産業分類の集計作業を進めており、基準値は資料 11 ページ記載の「兵庫県立大学地域経済指標研究会」のデータを参考としている。令和 7 年度を現状値とし、2021 年比で 150%の伸びを反映して、令和 8 年度以降の成長見込みを示している。

【松本委員】

- この数字を示すことで、目標がより具体的になる。このあたりの数値を前面に打ち出していきたい。

【水口委員】

- コロナ禍でスポーツの重要性を再認識した。私は西宮市で「西宮アスレチック・リエゾン」を進めているが、商工団体や大学、企業との連携は利益のある関係づくりが難しく、盛り上がり欠けている。背景には財源確保や指導者不足の課題があり、スポーツの可能性を十分に引き出せていない。自治体や関係団体が互いに利益をもたらす仕組みを構築できれば、地域の活性化につながると考えている。

【水田委員】

- 私は明石市で部活動指導員を務めているが、「スポーツコミッション」では地域合宿やイベントに関心がある。明石市は 2 年後の部活動完全移行に向け、財源不足が課題だ。市町村レベルでイベントを企画し、企業と連携して収益を得る仕組みが必要だと考えている。また、スポーツ GDP は分かりやすい指標なので、地域単位で数値化し、目標達成を実感できる形にすることが重要だ。

【西家委員】

- 兵庫県では 2020 年までアスリート助成制度があったが、現在は支援がなく、国の助成も減額されている。現在トップチームに資金が集中する一方、下位層は練習環境が厳しく、学生も自己負担を強いられている。他自治体では 30~40 万円の助成がある例もあり、兵庫県でも制度復活を強く望む。多くのアスリートが困難な状況にあることをご理解して欲しい。
- 小中学校で部活動指導者不足が深刻で、私たちのクラブにも協力依頼がある。現役引退後のオリンピックやパラリンピアンを学校に派遣し、報酬を伴う仕組みがあれば、セカンドキャリアの形成につながり、競技に安心して打ち込める環境が整うと考えている。

【伊藤委員】

- 政策目標 4「障害者スポーツの推進」には、セカンドキャリアも含まれている。オリンピックだけでなく、パラリンピアンへのキャリア形成も同様に重要だ。こうした視点を踏まえ、取り組みを進めていきたいと考えている。

【中山委員】

- 兵庫県内のスポーツコミッション登録団体は 5 つある。ただ、国の数値目標に合わせ無理に登録された例も多く、実態は多様である。純粹に行っているのは姫路スポーツコミッションで、施設改修などを進めている。地方では合宿誘致が中心で約 7 割を占め、都市部は大会運営が主流だ。関西では東大阪市が観光とスポーツを融合した取り組みを進めているが、宿泊施設不足で経済効果は限定的である。
- 一部改正（案）には記載されていないが、部活動の地域移行については、この枠組みとは直接関係していないと考えているのか。

【行政関係者（高橋スポーツ振興課長）】

- 部活動の地域移行は文化部も含むため、スポーツだけで論じることは難しい。兵庫県では教育委員会が中心で進めており、地域スポーツ環境づくりは関連するが、直接関与するわけではない。部活動地域移行には別途計画があるという位置づけである。

【賀屋委員】

- 先日、医歯薬系バスケット大会が京丹後市で開催されたが、アクセスや宿泊施設が極めて不便であった。こうした大会を地域活性化につなげるには、交通や宿泊などの基盤整備が不可欠だと感じた。地方の魅力を発揮するには環境整備が前提だ。
- 東京でデフリンピックが開催され、パラスポーツへの注目は高まっているが、依然として一部競技に偏ってい

る。幅広い種目をメディアが紹介すれば、体験や参加につながると考えている。収益面の課題はあるものの、情報発信の強化が重要だ。都市部だけでなく兵庫県内各地で大会や体験イベントを開催できる環境整備も必要だ。

【伊藤委員】

- 障害者スポーツというと、総論的に一括りにされがちだが、実際にはさまざまな種目や競技がある。そのため、この一部改正を具体化する際には、個々の競技にスポットを当て、それぞれに適切なサポートを行う仕組みを整えることが必要だ。こうした視点を踏まえた制度設計が、今後ますます重要になってくる。

【宇都宮委員】

- 競技レベルが上がるほど費用負担が増し、大学生などは海外大会を自己負担するケースが多くある。企業スポンサーは駅伝など一部競技に偏り、マイナー競技は支援が難しいのが現状だ。選手と企業をつなぐ仕組みや情報提供を充実させれば、認知不足で機会を逃す選手を減らせる。トップ選手だけでなく、あと少しで開花する選手への支援も必要だ。

【伊藤委員】

- スポーツ庁は現役選手のキャリアパスウェイを示す事例を提示している。この一部改正を踏まえ、こうした取り組みを具体化していくことが重要だと考えている。

【麻生委員】

- 政策目標5で掲げる「スポーツで地域のにぎわいを生み出す」や「スポーツ GDP」については、まだ十分理解できていない。私が特に懸念しているのは部活動の地域移行で、経済格差によるスポーツ機会の不平等についてだ。地方では教員が指導できず、子どもが集まるために送迎や指導者報酬などの費用が発生する。こうした負担を誰が担うのかが課題であり、地域クラブの運営主体や資金調達、補助金の仕組みを含め、現実的な制度設計が必要だ。
- 兵庫県には多くのプロチームやトップアスリートがいるが、アーバンスポーツも広げるべきだ。ただ、都市部のイベントで子どもが感動しても、地域に戻ると練習環境や指導者不足が課題になる。スポーツ GDP の視点から、地域に還元される資金の用途を明示し、スポーツツーリズムなどで経済循環を生み、収益をクラブや指導者報酬に充てる仕組みが必要だ。政策目標5にはこうした視点を組み込むべきだと考えている。
- うめきたの大屋根のような施設は、コンサートやアーバンスポーツを楽しめる空間を生み、人を集める力がある。三宮再開発でも歩行者優先の街づくりが進んでおり、こうした場を設けることで地域のにぎわいは大きく変わる。スポーツができるインフラ整備は、地域活性化に不可欠だ。

【伊藤委員】

- 今後、一部計画について実行計画を策定する際には、委員の皆様からいただいたご意見を反映し、具体的な計画づくりへと進めていければと考えている。

【署名委員】

西家 道代

中山 哲郎

令和7年度実施計画における総括指標と関連指標について

政策目標	指標	調査	R3年度 現状値	R4年度 目標値	R4年度 現状値	達成状況	R5年度 目標値	R5年度 現状値	達成状況	R6年度 目標値	R6年度 現状値	達成状況	R7年度 目標値	R7年度 現状値	達成状況	R8年度 目標値	R13年度 目標値	担当課		
子ども・ユーススポーツの推進	総 運動・スポーツが好きな子どもの増加	全国体力・運動能力運動習慣等調査	85.2%	86.0%	86.3%	100.3%	86.7%	86.1%	99.3%	87.5%	86.6%	99.0%	88.2%	86.3%	97.8%	89.0%	93.0%	スポーツ振興課		
	関 保護者等と一緒に参加できるスポーツイベントを開催する自治体数の増加	各市町スポーツ所管課へ調査	-	R4調査開始	26市町	-	30市町	30市町	100.0%	34市町	31市町	91.2%	38市町	30市町	78.9%	41市町	-	スポーツ振興課		
	関 スポーツや運動を週60分以上実施する児童・生徒の割合の増加	全国体力・運動能力運動習慣等調査	小学校5年生	男子	91.7%	92.1%	91.7%	99.6%	92.5%	91.2%	98.6%	92.9%	91.7%	98.7%	93.3%	90.3%	96.8%	93.7%	95.8%	スポーツ振興課
				女子	86.2%	86.9%	85.9%	98.8%	87.6%	84.1%	96.0%	88.3%	84.6%	95.8%	89.0%	82.6%	92.8%	89.7%	93.1%	
			中学校2年生	男子	93.5%	93.8%	93.2%	99.4%	94.1%	89.9%	95.5%	94.4%	91.2%	96.6%	94.7%	91.1%	96.2%	95.0%	96.7%	
				女子	81.4%	82.3%	82.3%	100%	83.2%	74.1%	89.1%	84.1%	78.6%	93.5%	85.0%	78.5%	92.4%	85.9%	90.7%	
関 ユース世代(中学生・高校生)を対象に一貫した育成制度を有する競技団体数の増加	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】	-	R4調査開始	33団体	-	34団体	33団体	97.1%	35団体	31団体	88.6%	36団体	R8 6月頃	-	37団体	41団体	(公財)兵庫県スポーツ協会			
生涯スポーツの推進	総 成人のスポーツ実施率の向上	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査	63.0%	64.4%	67.8%	105.3%	65.8%	61.0%	92.7%	67.2%	65.8%	97.9%	68.6%	66.0%	96.2%	70.0%	73.0%	スポーツ振興課		
	関 成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査	男性	66.0%	66.8%	65.8%	98.5%	68.1%	57.3%	84.1%	69.4%	62.9%	90.6%	70.7%	61.5%	87.0%	72.0%	74.0%	スポーツ振興課	
			女性	60.0%	62.0%	69.5%	112.1%	63.5%	68.3%	107.6%	65.0%	69.1%	106.3%	66.5%	69.0%	103.8%	68.0%	72.0%	スポーツ振興課	
			関 コンソーシアムを組織し、地域スポーツの活性化に取り組む自治体数の増加	各市町スポーツ所管課へ調査	-	R4調査開始	1市町	-	18市町	5市町	27.8%	26市町	5市町	19.2%	34市町	28市町	82.4%	41市町	-	スポーツ振興課
	関 過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査	-	R4調査開始	31.9%	-	32.9%	31.7%	96.4%	33.9%	34.5%	101.8%	34.9%	34.0%	97.4%	35.9%	40.9%	スポーツ振興課		
競技スポーツの推進	総 国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	「兵庫県スポーツ優秀選手表彰」「兵庫県スポーツ協会表彰(優秀選手賞)」	457人 ※R元年	462人	489人	105.8%	467人	537人	115.0%	472人	440人	93.2%	476人	626人	131.5%	480人	500人	スポーツ振興課		
	関 国民スポーツ大会で入賞(種別)する競技団体数の増加	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】	18団体	20団体	21団体	105%	22団体	21団体	95.5%	24団体	20団体	83.3%	26団体	21団体	80.8%	28団体	28団体	(公財)兵庫県スポーツ協会		
	関 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】	指導者数の増加	1,088人	1,099人	1,130人	102.8%	1,100人	1,579人	143.5%	1,120人	1,635人	146.0%	1,130人	1,738人	153.8%	1,140人	1,200人	(公財)兵庫県スポーツ協会	
			女性指導者の割合の増加	22.8%	24%	30.8%	128.3%	25.5%	22.0%	86.3%	27.0%	21.4%	79.3%	28.5%	21.6%	75.8%	30%	33%		
	関 Team HYOGOアスリートキャリアフォーラム(就業支援)へ参加する企業数の増加	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】	14社	15社	20社	133.3%	16社	15社	93.8%	17社	12社	70.6%	18社	11社	61.1%	19社	24社	(公財)兵庫県スポーツ協会		
	関 選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】	18団体	22団体	19団体	86.4%	26団体	18団体	69.2%	31団体	19団体	61.3%	36団体	R8 6月頃	-	41団体	-	(公財)兵庫県スポーツ協会		
障害者スポーツの推進	総 障害者スポーツの参画人口の拡大	【ユニバーサル推進課へ調査】	42,000人	45,000人	20,508人	45.6%	48,000人	29,530人	61.5%	47,000人	36,439人	77.5%	49,500人	R8 7月頃	-	52,000人	64,500人	ユニバーサル推進課		
	関 一般競技団体や実業団チームとの交流会開催数の増加	【ユニバーサル推進課へ調査】	11回	12回	9回	75.0%	13回	7回	53.8%	14回	7回	50.0%	15回	R8 7月頃	-	16回	21回	ユニバーサル推進課		
	関 公認障害者スポーツ指導者数の増加	【ユニバーサル推進課へ調査】	1,290人	1,350人	1,270人	94.1%	1,400人	1,217人	86.9%	1,450人	1,211人	83.5%	1,500人	1,166人	77.7%	1,550人	1,800人	ユニバーサル推進課		
	関 障害者スポーツ応援協定締結団体数の増加	【ユニバーサル推進課へ調査】	89団体	90団体	89団体	98.9%	91団体	89団体	97.8%	92団体	90団体	97.8%	93団体	90団体	96.8%	94団体	99団体	ユニバーサル推進課		
スポーツで地域にぎわいを生み出す	総 県内スポーツGDPの増加	【兵庫県立大学地域経済指標研究会試算】											-	293,248 百万円	-	304,000 百万円	357,500 百万円	兵庫県立大学地域経済指標研究会		
	関 スポーツレクリエーション目的観光消費額	【スポーツ振興課試算】											-	4,548億円	-	4,700億円	5,900億円	スポーツ振興課		
	関 過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加 [再掲]	「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査												34.9%	34.0%	97.4%	35.9%	40.9%	スポーツ振興課	
	関 Team HYOGOアスリートキャリアフォーラム(就業支援)へ参加する企業数の増加 [再掲]	【(公財)兵庫県スポーツ協会へ調査】												18社	11社	61.1%	19社	24社	(公財)兵庫県スポーツ協会	

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」の目標達成状況について

具体的な目標令和7年度目標値について達成状況を4段階で評価

◎：目標値を達成100%以上

○：目標値を概ね達成90%以上～100%未満

△：目標値をやや下回った70%以上～90%未満

▲：目標値を下回った70%未満

※：実績値未確定

総括指標：**総** 関連指標：**関**

政策目標1 子ども・ユーススポーツの推進

項目		R6実績	R7目標	R7実績	R7達成状況		
総	運動・スポーツが好きな子どもの増加	86.6%	88.2%	86.3%	97.8%	○	
関	保護者等と一緒に参加できる スポーツイベントを開催する自治体数の増加	31市町	38市町	30市町	78.9%	△↓	
関	スポーツや運動を週60分以上実施する児童・生徒の割合の増加	小学校5年男子	91.7%	93.3%	90.3%	96.8%	○
		小学校5年女子	84.6%	89.0%	82.6%	92.8%	○
		中学校2年男子	91.2%	94.7%	91.1%	96.2%	○
		中学校2年女子	78.6%	85.0%	78.5%	92.4%	○
関	ユース世代中学生・高校生を対象に一貫した育成制度を有する競技団体数の増加	31団体	36団体	※			

政策目標2 生涯スポーツの推進

項目		R6実績	R7目標	R7実績	R7達成状況		
総	成人のスポーツ実施率の向上	65.8%	68.6%	66.0%	96.2%	○	
関	成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上	男性	62.9%	70.7%	61.5%	87.0%	△
		女性	69.1%	66.5%	69.0%	103.8%	◎
関	コンソーシアムを組織し、地域スポーツの活性化に取り組む自治体数の増加	5市町	34市町	28市町	82.4%	△↑	
関	過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加	34.5%	34.9%	34.0%	97.4%	○↓	

政策目標3 競技スポーツの推進

項目	R6実績	R7目標	R7実績	R7達成状況	
総 国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	440人	476人	626人	131.5%	◎↑
関 国民スポーツ大会で入賞（種別）する競技団体数の増加	20団体	26団体	21団体	80.8%	△
関 （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について	指導者数の増加	1,130人	1,738人	153.8%	◎
	女性指導者の割合の増加	21.4%	28.5%	21.6%	75.8%
関 Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム就業支援へ参加する企業数の増加	12社	18社	11社	61.1%	▲↓
関 選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加	19団体	36団体	※		

政策目標4 障害者スポーツの推進

項目	R6実績	R7目標	R7実績	R7達成状況	
総 障害者スポーツの参画人口の拡大	36,439人	49,500人	※		
関 一般競技団体や実業団チームとの交流会開催数の増加	7回	15回	※		
関 公認障害者スポーツ指導者数の増加	1,211人	1,500人	1,166人	77.7%	△
関 障害者スポーツ応援協定締結団体数の増加	90団体	93団体	90団体	96.8%	○

政策目標5 スポーツで地域ににぎわいを生み出す

項目	R6実績	R7目標	R7実績	R7達成状況	
総 県内スポーツ GDP の増加			293,248百万円		
関 スポーツレクリエーション目的観光消費額			4,548億円		
関 過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加 【再掲：政策目標2】	34.5%	34.9%	34.0%	97.4%	○
関 Team HYOGO アスリートキャリアフォーラム就業支援へ参加する企業数の増加 【再掲：政策目標3】	12社	18社	11社	61.1%	▲↓

令和8年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

【根拠】スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（令和5年3月22日条例第24号）

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項

(単位：千円)

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R7 補助 金額	R8 補助 金額	増減額	所管課
1	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	公益財団法人兵庫県スポーツ協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とする当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	定額	79,708	70,812	△8,896	スポーツ 振興課
2	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	競技スポーツ振興事業 第2期兵庫県スポーツ推進計画の基本理念のもと、県内スポーツ団体(プロスポーツ団体等)の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。	定額	193,012	192,228	△784	スポーツ 振興課
3	公益財団法人 兵庫県スポーツ協会	国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費補助事業 国民スポーツ大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。 【第79回国民スポーツ大会】 滋賀県 令和7年9月28日～10月8日 【第80回国民スポーツ大会冬季大会】 青森県 スケート・アイスホッケー 令和8年1月31日～2月8日 スキー(コンパインドのみ秋田県開催) 令和8年2月14日～17日	定額	46,293	73,637	27,344	スポーツ 振興課

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R7 補助 金額	R8 補助 金額	増減額	所管課
4	公益財団法人 兵庫県スポーツ 協会加盟競 技団体等	スポーツ大会招致事業 (「はばタンスポーツ基金」活用事業) 質の高い競技や演技を観戦する機会を 県民に提供するため、のじぎく国体・大 会を契機に設置した「はばタンスポーツ 基金」を活用し、全国、国際規模の大会 等を招致する。	定 額	7,000	7,000	0	スポ-ツ 振興課
5	ひょうご女性 スポーツの会	「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助 女性のスポーツ環境の向上、女性スポ- ーツ人口の増加をめざし、女性の競技別 大会の開催や競技の枠を越えた研修会に 取り組むひょうご女性スポーツの会の活 動を支援する。	定 額	4,000	4,000	0	スポ-ツ 振興課
6	公益財団法人 兵庫県障害者 スポーツ協会	はばタン障害者スポーツ振興事業 (「はばタンスポーツ基金」活用事業) 障害者スポーツに親しむことができる 参加型イベントや県内各地で地元住民に より開催されるスポーツイベントの支援 等の事業を実施する。	定 額	2,510	2,510	0	ユニバーサル 推進課
7	社会福祉法人 兵庫県社会福 祉事業団	西播磨総合リハビリテーションセンタースポ-ツ事業推 進費補助 障害者スポーツの振興及びスポーツを 通じたリハビリテーションの推進を図る ため、西播磨総合リハビリテーションセ ンター内の「ふれあいスポーツ交流館」 において実施するスポーツ事業を支援す る。	定 額	36,459	36,459	0	ユニバーサル 推進課
			計	368,982	386,646	17,664	

スポーツ振興課

1 子どもユーススポーツの推進

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1 プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト（スポーツ振興課） | 48,000千円 |
| 【ふるさとひょうご寄附金】 | |

プロスポーツクラブ等との連携により、プロスポーツの試合観戦招待やスポーツ教室を開催するなど、地域活性化事業を展開する。

【実施内容（例）】

- ・子どものプロスポーツ試合観戦招待
- ・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催
- ・スポーツ関連イベントの開催

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 2 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト（スポーツ振興課） | 2,500千円 |
| 【ふるさとひょうご寄附金】 | |

ふるさと納税の活用により、子どもを対象としたスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を充実する。

【実施内容（例）】

- ・SPORTS NEW WAVE in TOTTEI PARK
 ジーライオンアリーナ神戸に隣接するTOTTEI PARKを、3時間限定でスポーツ空間として開放

- | | |
|-------------------------|---------|
| 3 プレミアムスポーツサマー（スポーツ振興課） | 6,000千円 |
| 【ふるさとひょうご寄附金】 | |

誰もが多様なスポーツに触れられる体験機会を提供するため、県内各地で実施されるスポーツ体験イベントの情報を集約し、WEBサイトで情報発信するとともに、将来的には地域に定着させることを目指す。

(1) 県内各地のスポーツ体験イベントの情報発信

県内で実施される多様なスポーツ体験イベントの情報を集約し、WEBサイトで情報発信して認知度向上と参加促進を図る。

(2) プレミアムイベントの実施

複数競技を無料で体験できる教室を、県立の屋内施設を活用して但馬・播磨・阪神の各地区で開催する。

場所：県立文化体育館、県立武道館、豊岡市立総合体育館

期間：夏休み期間（7月下旬～8月末）

対象：小学生

4 第2期兵庫県スポーツ推進計画（スポーツ振興課）

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」（令和4年3月策定）を一部改正（令和8年4月施行）し、これまで『する・みる・ささえる』スポーツへの参画を通じて進めてきた子ども・ユーススポーツ、生涯スポーツ、競技スポーツ、障害者スポーツの推進に加えて“スポーツで地域ににぎわいを生み出す”視点を補完的に盛り込み、改正後の計画のもと誰もがスポーツに親しみ地域の活力向上につながる取組を一層推進する。

5 乳幼児の運動習慣づくり推進事業（スポーツ振興課）

272千円

第2期兵庫県スポーツ推進計画に基づき、運動・スポーツが好きな子供の増加を図るため、乳幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組む。

(1) 運動遊び教室の開催

内容：乳幼児期に見られやすい発達上の課題に配慮し、克服・改善につながる運動遊びプログラムを実施

(2) スポーツ体験イベントの開催

内容：乳幼児及び保護者を対象に運動・スポーツが好きになるきっかけを作るスポーツ体験を実施

6 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課） 2,633千円

【勤労者福祉基金】

「スポーツクラブ21ひょうご」（以下SC21）について、スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等と自主自立に向けた取組を支援し、「スポーツ立県ひょうご」の実現に取り組む。

(1) 全県スポーツサミットの開催

対 象：SC21 代表者、市町体育・スポーツ協会代表者、市町行政代表者、地域スポーツ関係者 等

内 容：情報交換、事例発表 等

(2) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

SC21 が各地域で、だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを創出

①大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催

②障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催

③親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

7 地域スポーツ活性化支援事業（スポーツ振興課）

1,000千円

県民全体のスポーツ実施率向上を図るため、市町単位でコンソーシアムの設置を促進し、スポーツイベント開催に要する経費を支援する。

(1) 補助対象 市町で設置されたコンソーシアム

コンソーシアム = 市町内の行政を含む、スポーツ団体、大学、民間事業者など複数の団体から成る共同事業体

- (2) 補助金額 100 千円
- (3) 補助率 経費の1/2 ※県：市町＝1：1
- (4) イベント例 親子等でスポーツ体験会、種目別選手権大会 等

8 ワールドマスターズゲームズ開催準備（スポーツ振興課）	67,619千円
------------------------------	----------

2027年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ2027関西について、兵庫県開催競技の準備を本格化させるとともに、参加促進や機運醸成に取り組む。

- (1) 各競技大会の運営準備
 - 大会運営に必要なボランティアの確保や、大会運営ノウハウ習得のためのリハーサル大会を実施する競技団体への支援等を実施
- (2) 大会参加促進・機運醸成
 - 大会開催1年前イベント、競技開催市町でのPRイベント、大会機運醸成のための啓発資材の作成等を実施

■「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の概要

- (1) 主催 (公財) ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会
- (2) 共催 (公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本パラスポーツ協会
- (3) 開催時期 2027年5月14日(金)～30日(日)
- (4) 開催場所 兵庫県を含む関西地域
- (5) 開催競技 公式35競技59種目（うち兵庫県開催予定：10競技12種目）
- (6) 参加者 目標5万人（国内3万人、国外2万人）（概ね30歳以上）

9 関西マスターズゲームズ in HYOGO 開催事業（スポーツ振興課）	4,361千円
--------------------------------------	---------

ワールドマスターズゲームズ2027関西に向けて「する」スポーツの機運を一層醸成し、すそ野を広げるため、関西マスターズゲームズを開催する。

- (1) 総合開会式の実施（予定）
 - 開催日 令和8年4月
 - 場所 調整中
- (2) 競技別大会「関西マスターズゲームズ2026 in HYOGO」の開催（予定）
 - 時期 令和8年4月～令和9年3月
 - 場所 県内各市町
 - 種目 グラウンド・ゴルフ等
- (3) 県民ふれあい大会体験会の開催（予定）
 - 開催日 令和8年11月22日(日)
 - 場所 しあわせの村
 - 種目 ペタンク等 計16種目

2 生涯スポーツの推進

1 神戸マラソン2026 の開催（スポーツ振興課）	88,883千円
---------------------------	----------

【一部ふるさとひょうご寄附金】

県民のスポーツ振興を図るとともに阪神・淡路大震災の復興支援への感謝や兵庫・神戸の魅力在国内

外に発信するため、「神戸マラソン2026」を開催する。

- (1) 開催日 令和8年11月15日(日) (予定)
(11月13日(金)・14日(土)ランナー受付及びマラソンEXPO)
- (2) コース スタート(神戸市役所前)～折り返し(明石市大蔵海岸付近)～
フィニッシュ(神戸ハーバーランド・神戸ガス燈通り)
- (3) テーマ 「感謝と友情」
- (4) 出走者 約2万人

2 県立体育施設の管理運営（スポーツ振興課）	456,173千円
------------------------	-----------

【一部はばたンスポーツ基金】

県民の健康で文化的な生活を支える基盤として、県下6つの体育施設を運営

■県立体育施設

- (1) Life partner Arena（県立総合体育館）〔西宮市〕
- (2) 県立海洋体育館〔芦屋市〕
- (3) 県立文化体育館（4/1より県立文化体育館に改称）〔神戸市長田区〕
- (4) 県立神戸西テニスコート〔神戸市西区〕
- (5) 県立弓道場〔明石市〕
- (6) 県立武道館〔姫路市〕

3 ひょうご女性スポーツの会の活動支援（スポーツ振興課）	4,000千円
------------------------------	---------

女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。

- (1) 総会・総合開会式 講演及び競技別大会総合開会式の開催
- (2) 競技別大会 各競技団体による冠称大会の開催
- (3) 女性スポーツ参画促進イベントの開催
- (4) 京都女性スポーツの会との交流
- (5) 女性指導者育成のための研修会への参加

3 競技スポーツの推進

1 競技スポーツ振興事業（スポーツ振興課）	192,228千円
-----------------------	-----------

	【一部スポーツ振興くじ収益金】
--	-----------------

競技団体との連携のもと、国スポ選手等の強化や、次世代を担うジュニアアスリートの育成、子どもの運動・スポーツ機会創出等に取り組み、トップアスリート層の拡大を目指す。また、これらの活動を支援する指導者の養成にも取り組む。

2 スポーツ大会招致事業（スポーツ振興課）	7,000千円
-----------------------	---------

	【はばタンスポーツ基金】
--	--------------

質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。

(1) 助成対象 (公財) 兵庫県スポーツ協会加盟競技団体及び上部団体が、JSP0、JOCに加盟している県内のスポーツ団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等

(2) 助成額 大会運営費（食料費、事務局運営費、備品購入費等除く）に応じた助成（1大会上限100万円）

(3) その他 同一大会への補助は1回限りとする。新たに招致する大会については、県内開催定着を目指して、最大3年まで連続申請できる。

5 スポーツで地域ににぎわいを生み出す

1 ひょうごスポーツコミッション創設（スポーツ振興課）

スポーツの力を通じて地域に賑わいと誇りを創出し、地域活性化につなげる共創プラットフォームとなる官民連携の組織を創設し、スポーツの裾野拡大・人材育成やキャリア支援・指導者養成、スポーツツーリズムの推進・大会誘致等に取り組む。

(1) プレミアムスポーツサマー

夏休みに子どもたちのスポーツ体験機会を確保するために、スポーツ体験イベントの情報を集約、情報発信するとともに、県内3か所で複数競技の無料体験教室を開催

(2) マルチスポーツ教室

小中学生に多様な競技を体験させ、継続的な運動習慣と基礎的能力の育成を図る継続型プログラム。競技横断の学びとスポーツ離れ防止につなげる地域スポーツの基盤形成

(3) HYOGO STAR PROJECT

才能ある小中学生を発掘し、基礎能力評価と専門的指導により未来のトップアスリートを育成する取組。競技横断の育成体系を整備し、地域を支えるスポーツ人材の育成

(4) キャリア形成セミナー・企業マッチング会

アスリートと企業が交流し、デュアルキャリアの理解促進と受入企業の拡大を図る取組。競技と仕事を両立できる環境整備による安心して挑戦できるスポーツ基盤の強化

(5) プロスポーツクラブ・トップアスリート等と連携した指導者派遣プロジェクト

トップアスリートや指導者を学校・地域クラブへ派遣し、質の高いスポーツ指導と学びの機会を提供するとともに、トップアスリート等による教職員・地域スポーツ指導者向けの研修の機会として指導者の質を高め、地域のスポーツ環境を充実

(6) プロクラブ等と連携した選手等との交流ツアー

プロクラブ等の魅力による県内への誘客促進とプロクラブ等の観客拡大に向け、県内外の小中学生と保護者を対象に実施

ユニバーサル推進課

全ての人がある能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会

1	【拡】 ひょうごパラスポーツ振興の充実	15,435千円
	ユニバーサルなスポーツ施設検討会からの提言を踏まえ、障害者スポーツ機会の拡大を図るため、障害者が安全・安心に利用できる県内スポーツ施設の環境整備を促進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設職員の障害者対応力向上研修の開催 ・県内スポーツ施設ユニバーサルデザイン状況見える化支援 ・民間スポーツ施設ユニバーサルデザイン化支援 (環境改善支援、介助者利用料支援等) ・新たなパラスポーツ拠点整備の検討 	
2	パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開	37,509千円
	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承し、ワールドマスターズゲームズ2027関西やその先も見据え、パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業、次代を狙うパラアスリートの発掘育成の取組を引き続き実施	
3	兵庫車いすマラソン等の開催	1,033千円
	障害のある人とない人が車いすマラソンやユニバーサルリレー、パラスポーツ体験等を通じて、体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を促進	
4	障害者のじぎくスポーツ大会の開催	5,038千円
	障害者スポーツの振興、障害者の社会参加、県民の理解促進を目的として障害者のじぎくスポーツ大会を開催	
	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク等 	
5	全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業	37,212千円
	令和8年10月に青森県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣及び選手の育成	
6	はばタン障害者スポーツ振興事業	2,510千円
	障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことができる参加型イベントや県内各地で地元住民により開催されるスポーツイベントの支援等の事業を実施	

7 障害者スポーツ拠点施設におけるスポーツ事業の実施	36,459千円
----------------------------	----------

スポーツを通じて障害者の社会参加を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、県のリハビリテーションセンター内にあるスポーツ交流館において、スポーツ教室の開催や予防的リハビリテーションの普及、指導者の養成等を実施

○県立障害者スポーツ交流館（西区）：スポーツ大会・研修会等の開催

○ふれあいスポーツ交流館（たつの市）：スポーツ教室・大会・講習会等の開催

8 障害者（児）スポーツ・芸術文化等応援プロジェクト事業	1,000千円
------------------------------	---------

ふるさとひょうご寄附金を活用して障害者スポーツの競技用具を購入することにより、障害者アスリートを支援。また、障害児が新たな経験・体験をする機会を確保するため、障害児入所施設における備品等の購入費や活動経費等を助成